

中国(上海)自由貿易試験区に関する
上海・華東地域日系企業意識調査
【速報版】

2013年11月1日
日本貿易振興機構(ジェトロ)
上海事務所

調査概要・回答企業のプロフィール

調査目的

- 本年10月より始まった中国(上海)自由貿易試験区が内外の注目を集める中、在華東地域の日系企業の期待や声を取りまとめ、自貿試験区における今後の日系企業の事業環境の更なる改善、また自貿試験区の発展に繋げていくことを目的とする。

調査対象

- インターネット上に回答フォームを設置し、上海日本商工クラブ会員、華東地域の各地日本商工クラブ会員を対象として呼び掛け。

調査時期

- 2013年(平成25年) 10月16日～10月23日

回答状況

- 299件(294社※)
※分公司・系列会社も複数としてカウント。

備考

- 本調査にあたってはなるべく多くの日系企業に回答頂けるよう呼び掛けを行ったが、本調査結果が情報の完全な正確性・網羅性を保証するものではない。
- アンケートに回答した企業が、各設問に全て回答したわけではない(回答必須の項目(Q1)を除く)。また、任意回答の設問・複数回答可能な設問は必ずしも合計が100%にはならない。
- 図表の数値は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%とはならない。

【調査結果のポイント】

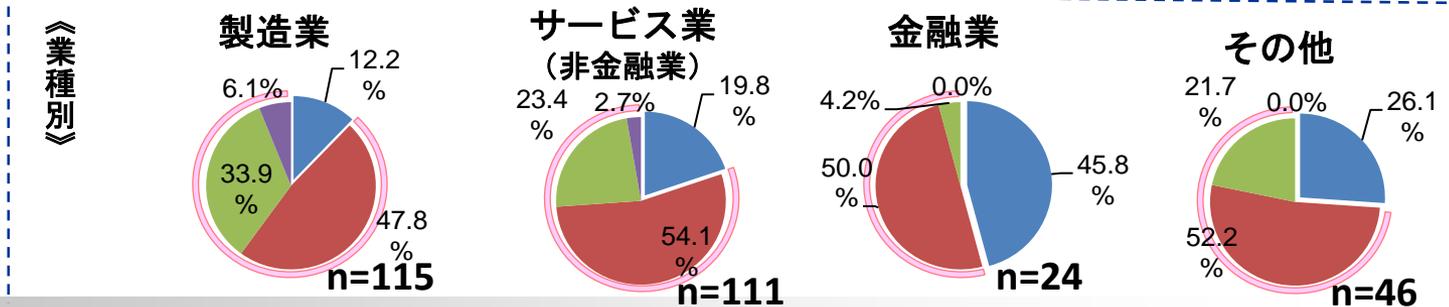
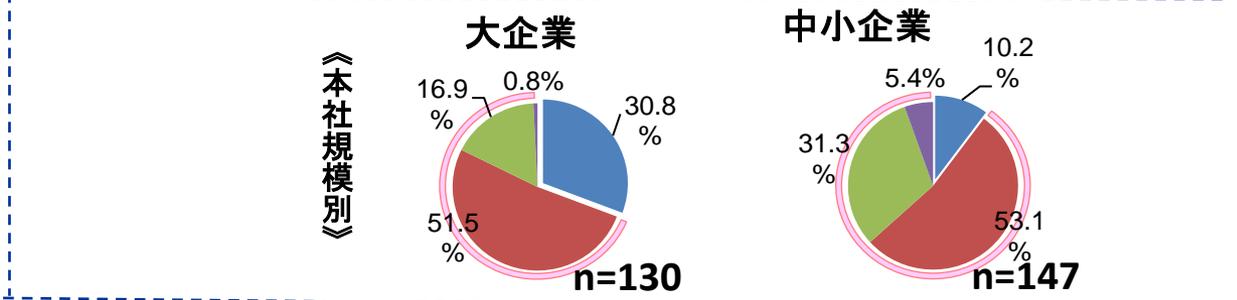
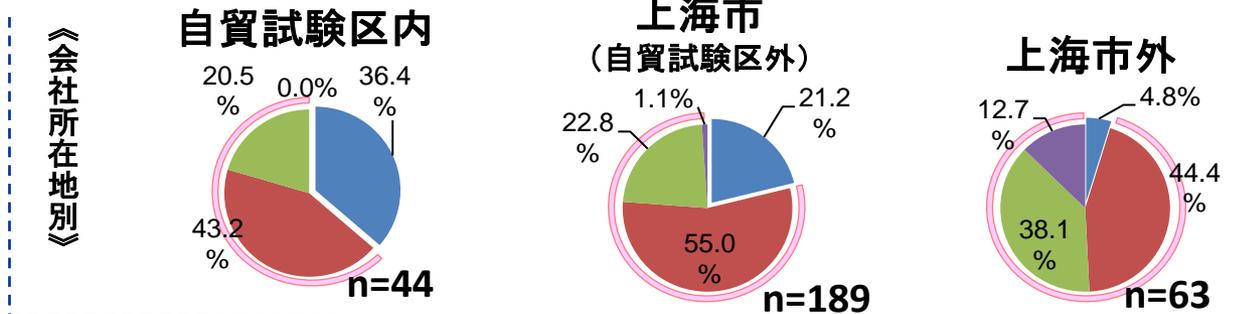
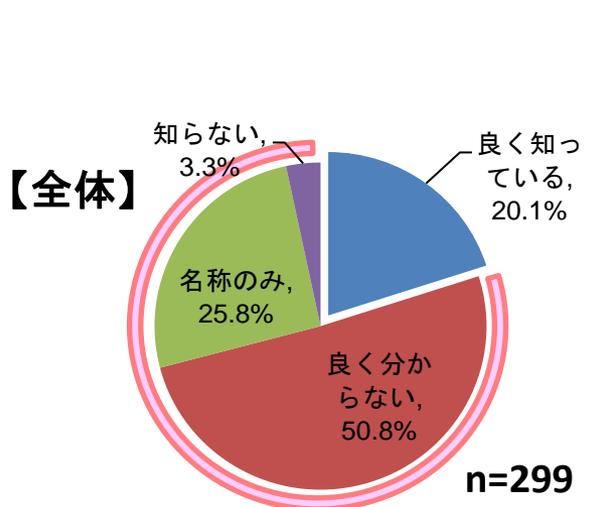
- 中国(上海)自由貿易試験区(以下、「自貿試験区」)に対する日系企業の関心・期待は極めて高い。特に、貿易、金融、為替など各分野の制度改革・規制緩和に対する期待は高く、既に自貿試験区における法人設立など新規の事業展開を検討している企業も多く見られる。
- 一方で、詳細については過半の企業が「良く分からない」との回答で、説明会の開催や情報提供を望む声が多い。また、制度改革が順調に進展するのかを懸念する声も一部企業にあり、制度改革・改革開放の進展に向けて、具体的且つ実効性のある施策が迅速に実施されていくことが期待されている。

【回答企業のプロフィール】

	会社属性	比率	件数	合計
会社所在地	上海市内(自貿試験区域外)	63.2%	189	296
	上海市内(自貿試験区域内)	14.7%	44	
	上海市外	21.1%	63	
	※未選択		3	3
本会社規模	大企業	43.5%	130	295
	中小企業	49.2%	147	
	それ以外・不明	6.0%	18	
	※未選択		4	4
業種	製造業	38.5%	115	296
	サービス業(金融を除く)	37.1%	111	
	金融業	8.0%	24	
	その他	15.4%	46	
	※未選択		3	

Q1. 自貿試験区に対する現時点の認識度〔単一回答〕

◆自貿試験区に対する認識度を尋ねたところ、現段階では「良く分からない」「名称のみ」といった回答が大半を占めた。
 ◆会社所在地別に見ると、「良く知っている」と答えた企業が自貿試験区内で36.4%、自貿試験区外の在上海企業で21.2%、上海市外の企業が4.8%で、自貿試験区に近い企業の認識が高くなっている。
 本社規模別に見ると、30.8%の大企業が「良く知っている」と答えたのに対して、中小企業で同じ答えは10.2%に留まっており、大企業の方が認知度が高い。
 業種別で見ると、金融業においては「良く知っている」との回答が45.8%となっており、改革が期待されている業界からの認知が高いことが判る。



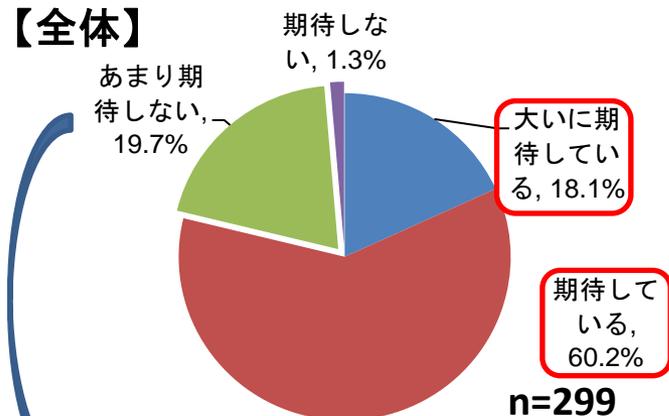
Q2. 自貿試験区に対する期待度〔単一回答〕

◆自貿試験区に対する期待を尋ねたところ、8割近く(78.3%)の企業が「期待している」又は「大いに期待している」と回答していて、日系企業の自貿試験区に対する期待が高いことが判る。また、「あまり期待しない」「期待しない」との理由では、「現時点では詳細が分からないため」といった理由が多いことから、多くの企業が期待を持っていることが伺える。

◆特に、自貿試験区内の企業は9割以上(93.1%)が「期待している」又は「大いに期待している」との回答で、自貿試験区に対する期待が高い。

◆他方、製造業の一部では、今回の措置が製造業にとってどのような意味があるか分かり難いとの理由で「あまり期待しない」との声も見られた。

【全体】



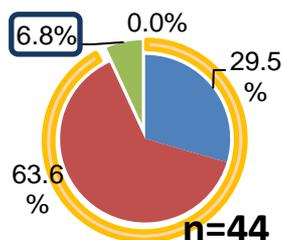
Q2-3. Q2で「あまり期待しない」又は「期待しない」とした理由〔自由記述〕

<「あまり期待しない」「期待しない」とした理由(代表的なもの)>

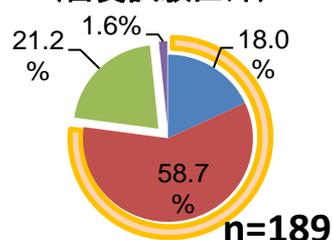
- ・内容が具体的に理解出来て無い為。
- ・製造業である当社にとりどのようなメリットがあるのかわからない。
- ・現状では、直接的なメリットが見いだせない。
- ・表面的には各種規制が撤廃されているが、運用面での各種規制が行われる可能性もあり、もう暫く様子を見てみないと分からない。
- ・香港のような自由度は期待できないため。
- ・当社のビジネス形態は中国国内(In-In)のビジネスが中心である為。
- ・この試験区が成功して、対象地域が広がった時点で検討したいと思えます。

《会社所在地別》

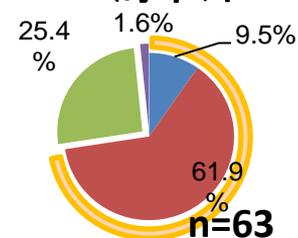
自貿試験区内



上海市 (自貿試験区外)

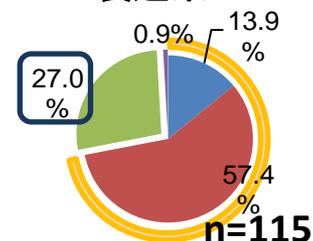


上海市外

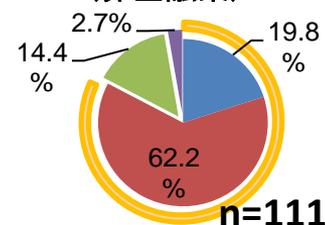


《業種別》

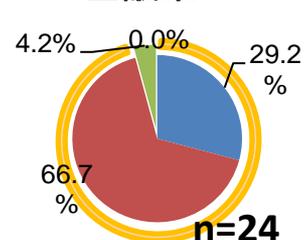
製造業



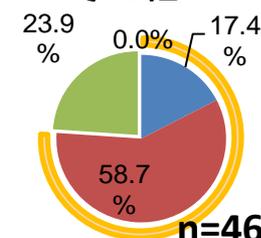
サービス業 (非金融業)



金融業



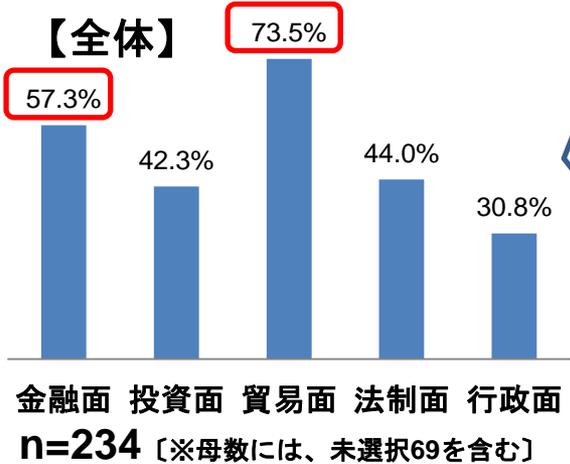
その他





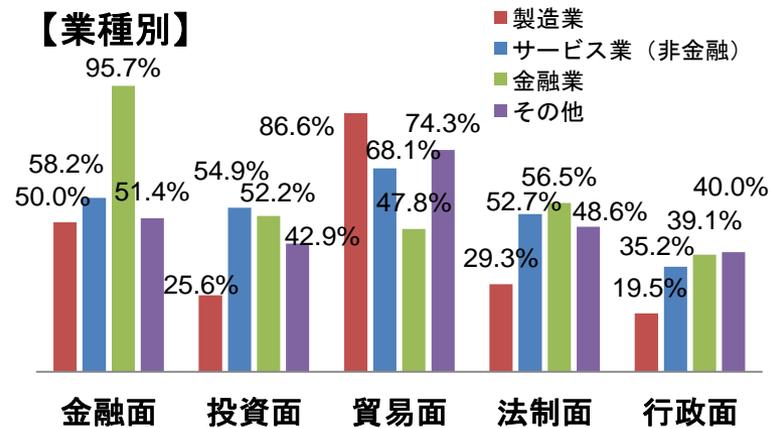
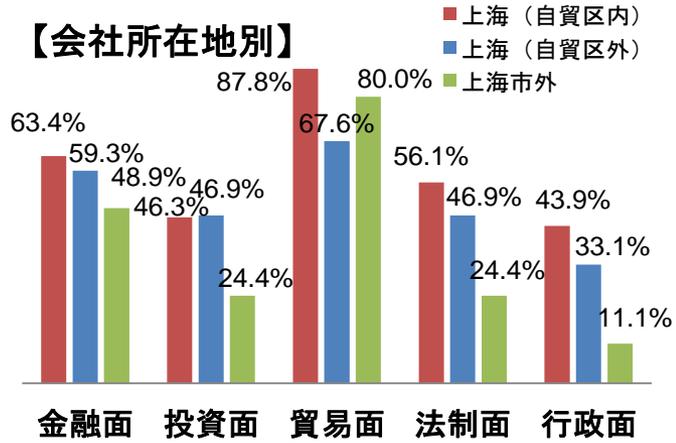
Q2-2. 特に期待している視点〔複数回答〕 (Q2で「大いに期待している」又は「期待している」方)

◆自貿試験区に「期待している」又は「大いに期待している」と回答した企業に対して、どの様な点に期待しているかを尋ねたところ、貿易面、次いで金融面に対する期待が特に高かった。



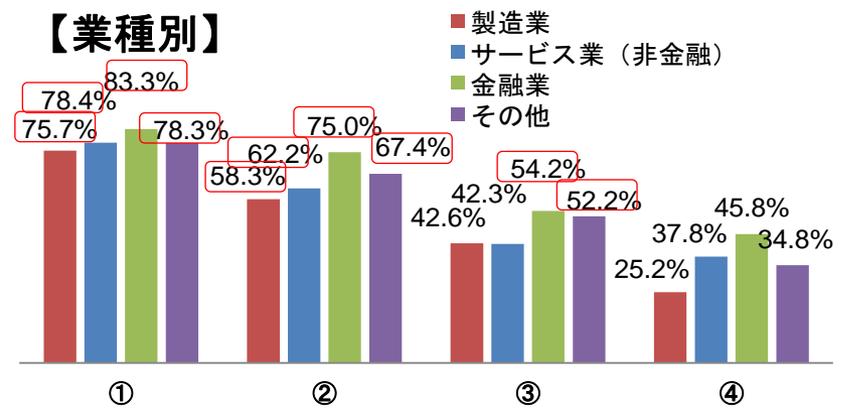
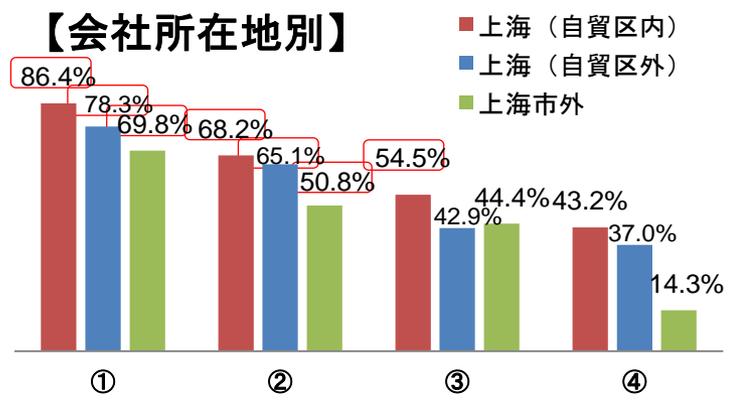
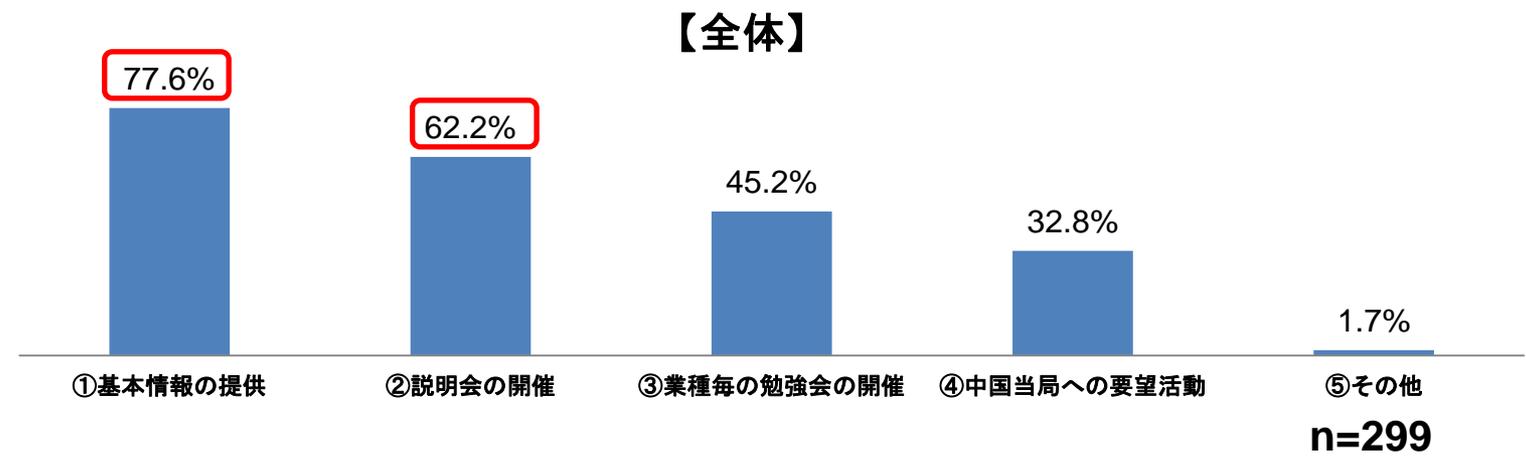
回答	割合	件数
金融面(一定の条件下での人民元の自由化、金利の市場化、人民元クロスボーダー取引等)	57.3%	134
投資面(サービス業の開放拡大、外商投資項目のネガティブリスト方式化等)	42.3%	99
貿易面(自貿試験区内への搬入手続き、検査検疫手続きの簡素化、多国籍企業の本部機能の誘致等)	73.5%	172
法制面(外資企業にかかる法律の審査・批准手続きの3年間停止等)	44.0%	103
行政面(事前の審査認可から事後のモニタリングへの転換、異なる行政部門の共同管理の実現等)	30.8%	72
その他	4.7%	11

※「期待している」又は「大いに期待している」と回答した234件を母数とする。
※母数には、本設問に対して未選択であった回答を含む。



Q3. 日系企業支援機関による横断的活動 (総領事館、ジェトロ、日商クラブ)への期待 [複数回答]

◆ 日系企業支援機関等に対する今後の活動への期待を尋ねたところ、基本情報の提供や説明会の開催を望む声が多く寄せられた。

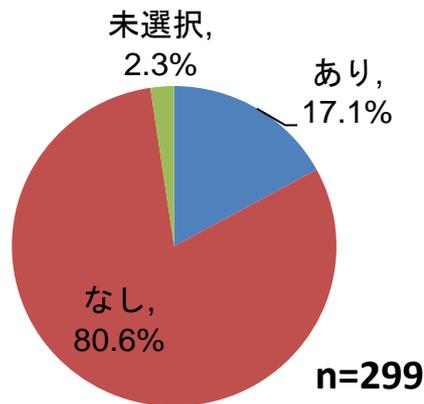


Q4. 自社で具体的に検討している活動の有無〔単一回答〕

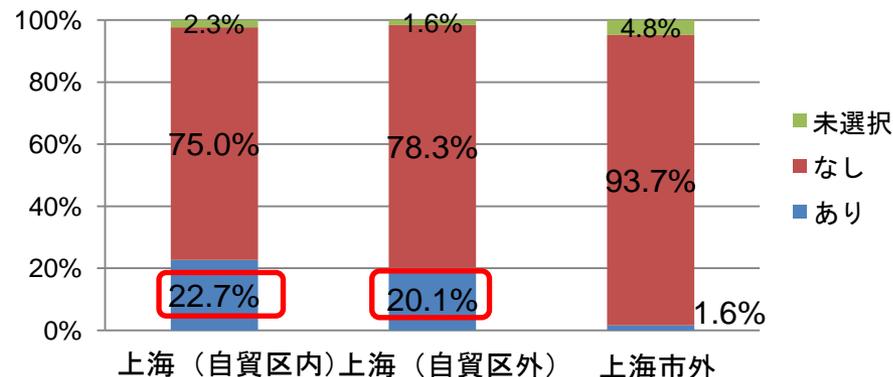
・具体的内容〔自由記述〕

- ◆自貿試験区に対して自社で具体的に検討している活動の有無につき尋ねたところ、「あり」との回答が51件(17.1%)にのぼった。
- ◆具体的な内容としては、自貿試験区内での会社や拠点の設立、新しい事業展開を検討するとの回答や、今後の事業展開を検討するための情報収集を行うとの回答が多く寄せられた。
- ◆会社設立の動機として、既存の現地法人の事業が規制により制約があり、規制緩和により自貿試験区内でよりスムーズな事業運営を期待する声も見られる。

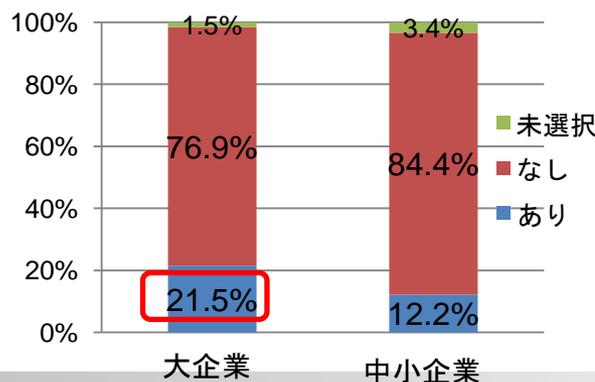
【全体】



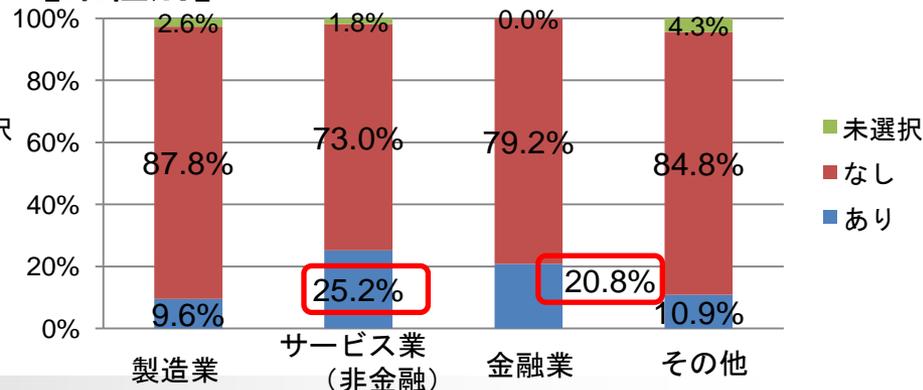
【会社所在地別】



【本社会社規模別】



【業種別】



Q5. 他地域での早期適用が期待される措置や、将来にわたり、 改革・規制緩和を期待する措置等 〔自由記述〕

◆将来にわたり、改革・規制緩和を期待する措置等を尋ねたところ、金融、為替、貿易、ネットや通信事業を始めとする各分野の自由化・規制緩和を求める声が多く寄せられた。また、事業ライセンス取得の自由化、就労ビザ発給(延長)条件の緩和、自貿試験区外への制度改革波及への期待といった声が複数寄せられている。

Q6. その他、自貿試験区に対する疑問、要望、関心など 〔自由記述〕

◆自貿試験区に対する疑問、要望、関心等について尋ねたところ、自貿試験区のメリットや制度自体が良く分からないため、説明会の開催や情報提供を望む声が多く寄せられた。また、諸規制の緩和が期待外れに終わる懸念、今後に対する期待など様々な声も寄せられている。

アンケート調査票

自貿区について、以下お聞かせ下さい。

Q1: 自貿区に対する現時点の認識度をお聞かせ下さい。

良く知っている 良く分からない 名称のみ 知らない

Q2: 自貿区に対する期待度をお聞かせ下さい。

大いに期待している 期待している あまり期待しない 期待しない

Q2-2: (Q1で大いに期待している又は期待している方) 自貿区について特に期待している視点を教えて下さい。(複数回答可)

- 金融面(一定の条件下での人民元の自由化、金利の市場化、人民元クロスボーダー取引等)
- 投資面(サービス業の開放拡大、外商投資項目のネガティブリスト方式化等)
- 貿易面(自貿区内への搬入手続き、検査検疫手続きの簡素化、多国籍企業の本部機能の誘致等)
- 法制面(外資企業にかかる法律の審査・批准手続きの3年間停止等)
- 行政面(事前の審査認可から事後のモニタリングへの転換、異なる行政部門の共同管理の実現等)
- その他()

Q2-3: (Q1であまり期待しない又は期待しない方): なぜ自貿区について期待しないかお聞かせ下さい。

Q3: 自貿区に関する当地の日系企業支援組織による横断的活動(総領事館、ジェトロ、日商クラブ)への期待をお聞かせ下さい。(複数回答可)

- 基本情報の提供 説明会の開催 業種毎の勉強会の開催
- 中国当局への要望活動、 その他()

Q4: 今後、自貿区に関して、自社で具体的に検討している活動の有無及び具体的内容があれば教えて下さい。

活動の有無: あり、 なし

具体的内容:

Q5: 将来、自貿区での改革・規制緩和は、今後、他の地域にも適用されることに加え、より緩和措置が拡大されることが想定されています。特に、他地域での早期適用が期待される措置やこれまでに既に発表されてる措置以外に、将来にわたり、改革・規制緩和を期待する措置等がありましたらお聞かせ下さい。

アンケート調査票

Q6:その他、自貿区に対する疑問、要望、関心その他、何かお伝え頂きたいことがありましたらお聞かせ下さい。

回答者について下記ご記入ください。

回答者名:

会社名:

担当者連絡先 (Email/TEL):

会社所在地: ○上海市内(自由貿易区域外) ○上海市内(自由貿易区域内) ○上海市外

本会社規模: ○大企業 ○中小企業 ○それ以外・不明

今後、ご回答者の方の関心のあると思われる各種事業、及び各種アンケート調査等をご案内させていただきたく、ご承諾賜れば幸いです。ご案内の可否につき、下の□にチェックをお願いします。

< 送付可 送付不可 >